

会長からのメッセージ

John Ware OAM

ジュネーブで開催された FIP 理事会に西太平洋地域薬学フォーラム会長として出席し、たった今戻ったところです。理事会での討議後、各フォーラムのプレゼンテーションも行われ、それぞれのプログラムの進捗状況や成果が発表されました。今回の理事会は WHO 総会と同時に開催されたもので、WHO と正式の関係をもつ NGO の国際グループである World Health Alliance とも合同会議が行われました。World Health Alliance のメンバーは医師、看護師、薬剤師です。

私の報告について申し上げますと、西太平洋地域薬学フォーラムが設立されてからこれほど短期間でこのような成果を上げられたことを私は大変誇りに感じました。「Ask Questions About Medicines」に関するウェブサイトやプロ

グラムを立ち上げたこととその出来ばえ、そして WHO の要請により当地域で作成した、公衆衛生における薬剤師の役割についての卒前教育の指針は、他フォーラムからの出席者に強く印象づけることができました。

SARS 危機はさまざまな国際会議で大きくとりあげられましたが、当地域の薬剤師が速やかに対応し、SARS に関する公衆衛生情報を人々に提供したのは喜ばしいことです。シンガポール薬剤師会、台湾薬剤師会、中国薬剤師会および日本薬剤師会は、SARS 関連情報を国民に提供するという重要な役割を速やかに果たしました。当地域の薬剤師会はそのほとんどが、このような速やかな対応に続いてさらに何らかの形で貢献をしたことが報告されています。

SARS によって、公衆衛生やセルフケア情報の提供に薬剤師が必要であり、重要であることが改めて示されました。またこのことで、西太平洋地域の全ての薬剤師会にとって、各国の全薬科大学に対して薬剤師向け公衆衛生教育に関する

る指針とその勧告を採用するよう働きかけることがどれほど重要であるかも示されました。

WHO 総会のもうひとつの大きなトピックは、Dr Gro Harlem Brundtland の後任として、WHO に 20 年間勤務してきた韓国の Dr Jong-Wook Lee が事務局長に任命されたことです。

もう一つの大きなハイライトとして、公衆衛生分野で世界初の条約である WHO たばこ規制枠組み条約が全会一致で採択されました。

SARS は終息に向かい、国際緊張も和らいでいますので、9月にオーストラリアのシドニーで開催される FIP 国際薬剤師・薬学会議、そしてもちろん西太平洋地域薬学フォーラムのセミナーと年次総会でも、できるだけたくさんの方々にお目にかかりたいと思います。